

12. 取り付け準備

危険

- チャイルドシートがしっかりと固定できない場合は、本車の性能を果たさず大変危険ですので、他の車座に取り付けてください。
- 車に取り付けるときは、ひもなど、車両シートベルト以外のもので固定しないでください。
- エアバッグ装備の車席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
- ※サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

警告

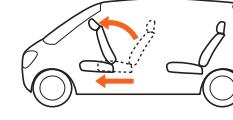
- 車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けてください。
- お子さまがチャイルドシートに座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。
- エアバッグ装備のない助手席にチャイルドシートを取り付け、後向きで使用する場合、ドアミラーが見えにくい場合は後席に取り付けてください。
- ドアアラウンドアの車で後席乗車者がいる場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けてください。
- 緊急時の脱出のさまたげになります。

取り付け作業の前に

- 1 取り付け作業は、ドアが全開可能な、平らな場所で行ってください。

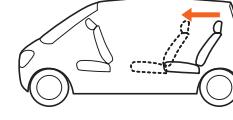


- 2 車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付けてください。



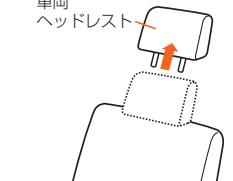
取り付け作業のスライド機能について

- 取り付け手順終了後に取り付け座席を前にスライドさせると、より確実に固定できます。



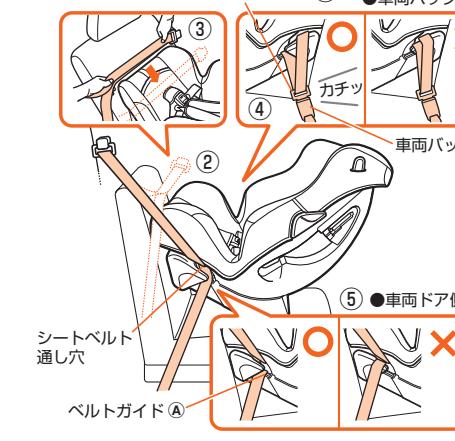
車両ヘッドレストについて

- 車両座席形状や車両ヘッドレストを確認し、車両ヘッドレストを取りはずす場合は、取りはずしてください。

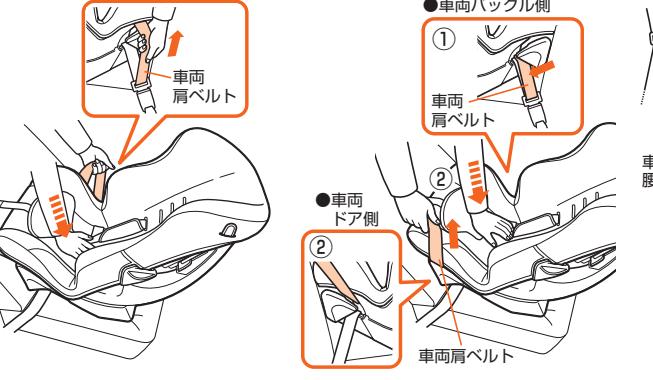


13. ベビーモード(体重10kg未満のお子さま)の取り付け

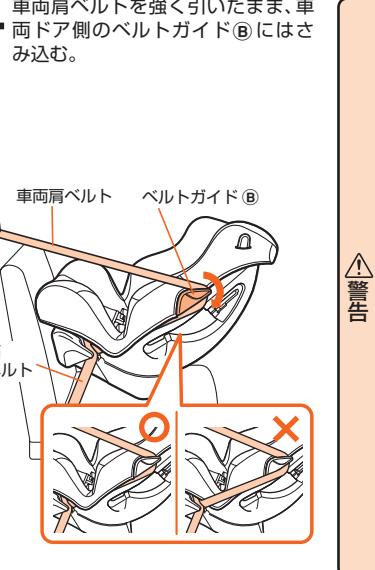
- 1 ①本体を車両進行方向に対し後向きに置く。
②車両シートベルトをねじらないようにゆっくり引き出す。
③車両腰ベルトと車両肩ベルトを重ねて、座面先端から滑らすようにシートベルトを通して通す。
④差込金具を車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。
⑤車両腰ベルトを左右のベルトガイド⑥に通す。



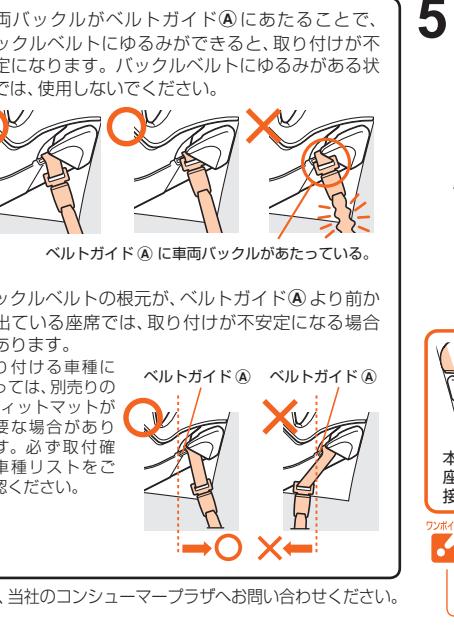
- 2 ①本体を車両座席に押し付けながら、車両肩ベルトを引き、車両腰ベルトのゆるみをとる。



- 3 ①車両肩ベルトを車両バックル側のベルトガイド⑧に通す。
②本体を車両座席に押し付けながら、車両ドア側から車両肩ベルトを手前に引く。



- 4 車両肩ベルトを強く引いたまま、車両ドア側のベルトガイド⑧に差し込む。



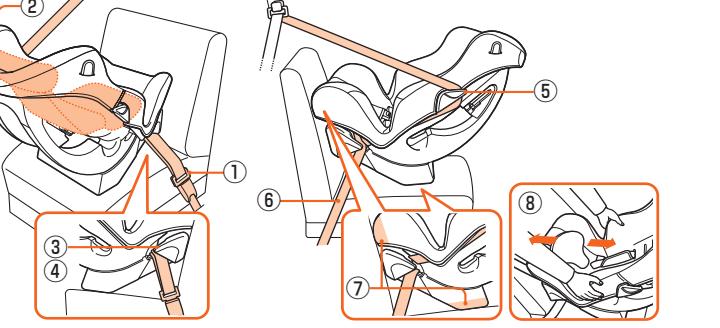
- 5 チャイルドシートの取り付け角度を調節する。車両座席に本体底面、車両背もたれに座面先端が接地していることを確認する。



ベビーモード取り付け完了チェックのしかた

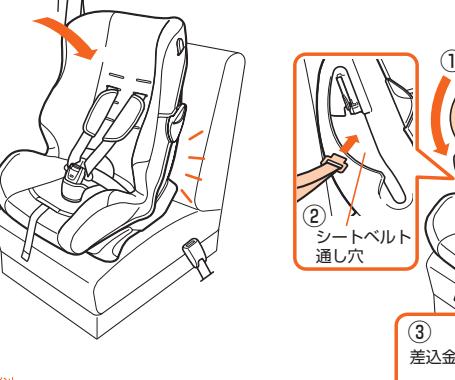
取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

- 車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
- お子さまの体重が7kg未満の場合は、インナークッションが取り付けてあること。
- 車両腰ベルトが車両ドア側のベルトガイド⑥を通っていること。
- 車両肩ベルトが車両ドア側のベルトガイド⑧を通っていること。
- 車両座席に本体底面、車両背もたれに座面先端が接地していること。
- 車両シートベルトにたるみがないこと。
- 車両座席に本体底面、車両背もたれに座面先端が接地していること。
- 本体座面の側面部分を持ち前後にゆすり、しっかり取り付けられていることを確認すること。

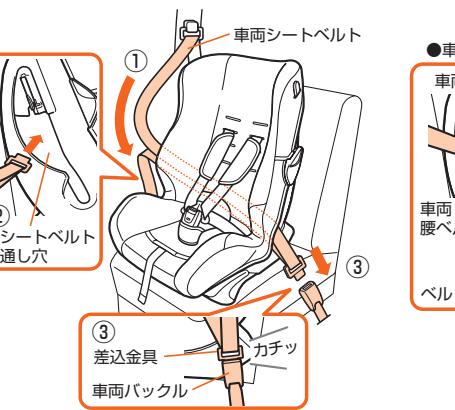


14. チャイルドモード(体重9kg以上18kg以下のお子さま)の取り付け

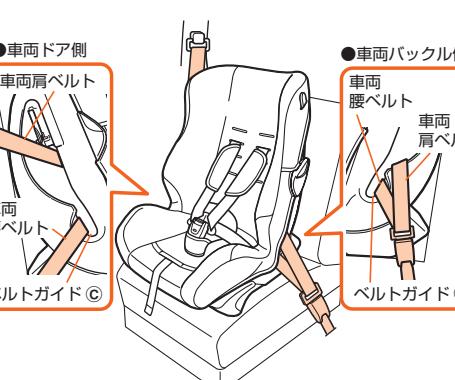
- 1 本体を車両進行方向に対し前向きにし、車両座席の背もたれに接するように置く。



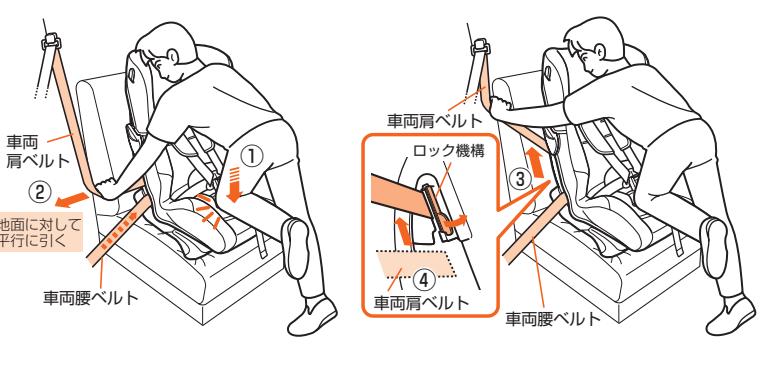
- 2 ①車両シートベルトをねじらないようにゆっくり引き出す。
②シートベルト通し穴に通す。
③反対側の通し穴から引き出し、差込金具を車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。



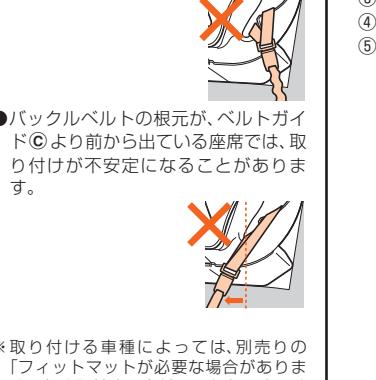
- 3 車両腰ベルトが左右のベルトガイド⑤の赤色マークにかかるように通す。



- 4 ①座面の奥にひざを乗せて体重をかけ、車両座席に本体を沈み込ませる。
②車両肩ベルトを矢印の方向(地面に対して平行)で車両腰ベルトを強く引き、車両腰ベルトをはさみ込み、ロック機構を押し込み閉める。



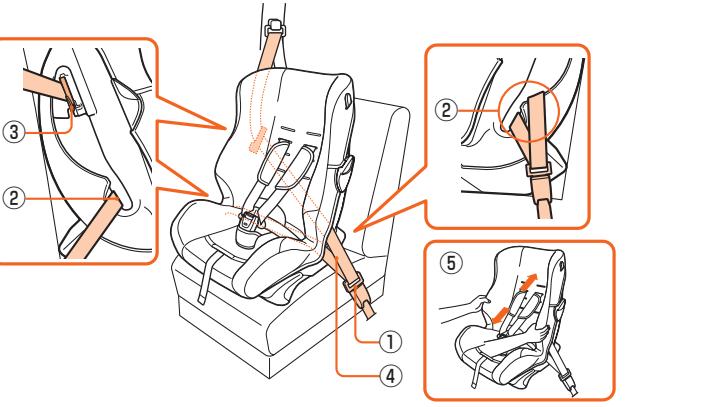
- 車両バックルがベルトガイド⑥にあたることで、バックルベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。バックルベルトにゆるみがある状態では、使用しないでください。



チャイルドモード取り付け完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

- 車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
- 車両腰ベルトが左右のベルトガイド⑤を通っていること。
- 車両肩ベルトが車両ドア側のロック機構を通っていること。
- 車両シートベルトにゆるみたまみがないこと。
- 本体座面の側面部分を持ち前後にゆすり、しっかり取り付けられていることを確認すること。



15. お子さまにあわせた肩ベルトの調節のしかた(ベビーモード・チャイルドモード)

*ジュニアモードでは幼児ベルトを使用しません。

肩ベルト通し穴の位置

警告

- 肩ベルト通し穴位置は、モードによって適正位置を選んで使用してください。
- 肩ベルト通し穴は左右同じ高さの穴を使用してください。



肩ベルト通し穴の位置

●ベビーモード
お子さまの肩の高さよりも、やや下の肩ベルト通し穴を使用する。



●チャイルドモード
お子さまの肩の高さよりも、やや上の肩ベルト通し穴を使用する。

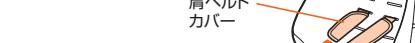


- 1 ①調節ベルト取り出し口をめくり、ベルト調節ボタンのPUSHマークを強く押しながら、左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に強く引きゆめる。

※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



- 2 ③本体背面の幼児ベルト収納カバーをはす。
④ベルト調節金具から幼児ベルトをはずす。



- 3 幼児ベルトを肩ベルトカバーから引き抜く。



- 5 ①肩ベルトカバーに幼児ベルトがねじれないように注意しながら通し、②本体背面から引き出す。



- 6 ①幼児ベルトをベルト調節金具に取り付け、②幼児ベルト収納カバーを上下に注意し、取り付ける。

- 4 ①左右の肩ベルトカバーを本体背面から片方ずつ引き抜く。
②肩ベルトカバーを適正な肩ベルト通し穴に通す。

16. お子さまの座らせかた(ベビーモード・チャイルドモード)

*ジュニアモードでは幼児ベルトを使用しません。

- 1 ①お子さまにあわせた肩ベルトの調節のしかたの手順1の作業を行う。
②バックルボタンを押し、差込タングを抜く。
③お子さまを深く座らせて、左右の腕を幼児ベルトに通す。
④左右の幼児ベルトがねじれていなければ確認する。



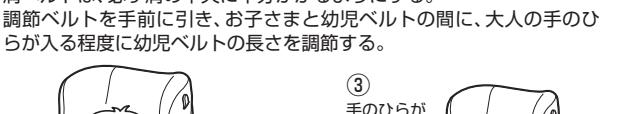
- お子さまをタオルなどでくるんだま、座らせないでください。
●かさばったベビーウェアを着せたま、座らせないでください。
●お子さまを座らせると、下のようなるせかたをしないでください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険を招くおそれがあります。

- 2 左右の差込タングを組みあわせてから「カチッ」と音がするまで、差込タングをバックルに差し込む。



- 左右を組みあわせ
差し込む
差し表示赤色が緑色に変わります。

- 3 幼児ベルトを短く調節する。
①腰ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにし、腰部に密着させる。
②肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。
③調節ベルトを手前に引き、お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度に幼児ベルトの長さを調節する。



●必ず幼児ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。
●幼児ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻き付きます。お子さまが骨盤をしっかりと拘束するように、必ず幼児ベルトを底く下げるごとに。

警告

- お子さまが骨盤をしっかりと拘束するように、必ず幼児ベルトを底く下げるごとに。
- お子さまが飛び出したりするおそれがあります。
- 幼児ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻き付きます。

17. ジュニアモードの準備

ベビーモードまたはチャイルドモードで使用していた、バックル、幼児ベルトなどを収納します。収納はシートカバーをはずして行いますので、本書「表紙10. シートカバーの取りはずしかた」をご覧ください。

バックルの収納のしかた

バックルを本体座面の収納場所に納める。

本体座面

バックル

幼児ベルトの収納のしかた

幼児ベルトを差込タングと一緒にまるめて、図のように納める。

本体座面

差込タング

18. ジュニアモード(体重15kg以上25kg以下のお子さま)の取り付け

- 1 収納用ポケットからベルトポジショナーを取り出す。

ベルト調節金具の収納のしかた

ベルト調節ボタンを押して、調節ベルトを引き、ベルト調節金具と一緒にまとめて収納用ポケットに納める。

本体座面

ベルト調節金具

ベルト調節ボタン

収納用ポケット

- 3 ①本体を車両進行方向に対し前向きにし、車両座席の背もたれに接するように置く。
②車両シートベルトを引き出し、「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。

車両シートベルトの通し方

車両腰ベルトを左右のベルト通し部に通す。

車両肩ベルトを車両バックル側のベルト通し部に通す。

車両肩ベルトをガイドクリップに通す。

ベルト通し部

差込金具

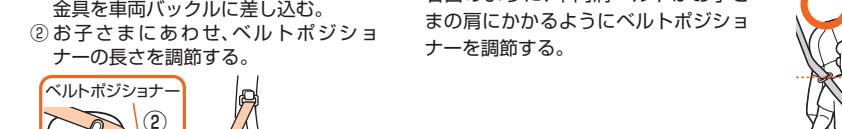
カチッ

車両バックル

注意

19. お子さまの座らせかた(ジュニアモード)

- 1 ①バックルをいったんはずし、お子さまを深く座らせ、車両シートベルトを引き出して「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。
②お子さまにあわせ、ベルトポジショナーを調整する。



- 保護者のかたの補助なしでお子さまが一人で乗り降りする、車両座席から落ちはり倒れたりするおそれがあります。必ず保護者のかたが乗せ降ろししてください。

- お子さまを団のうに座らせると、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険です。

- ・のけぞる、前かがみになる

- ・お子さまが、体を左右どちらかに傾けて座っている。

- ・中腰、正座、立てひざなどをする

ベルトポジショナーの正しい位置

右図のように、車両肩ベルトがお子さまの肩にかかるようにベルトポジショナーを調節する。

●肩ベルト

●腰ベルト

●手のひらが入る程度に調節する。

●お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず幼児ベルトを底く下げるごとに。

●幼児ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻き付きます。

●お子さまが飛び出したりするおそれがあります。

●幼児ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻き付きます。